

1

あご

顎の検査

0… 異常なし

1… 要 観 察

開・閉口時に、下顎が左や右に偏位したり
雑音（パキン、ザラザラなど）がでたりする。

2… 要 精 検

開・閉口時それ以外でも顎関節や咀嚼筋に痛みがある。
2横指以下の開口障害がある。



インフォメーション INFORMATION

がくかんせつしょう
顎関節症

①、②の症状を伴います。宮城県の調査では他の学年に比較して中3、高3でその割合が高い値を示しました。このことは受験期の心身的な疲労やストレスが関係していると考えられます。その他、うつぶせ寝、頬杖、爪かみなども原因とされているので、注意しましょう。

顎の診査



異常あり
の場合



顎関節の動き、咀嚼筋の状態
開口量などを診査する

口の中の診査の前に、まず顔の
対称性、口の開き具合、雑音の
有無、顎の偏位などの診査をする

へんい 顎の偏位



上の顎の正中に対し下の顎の正中が左側にずれる

かいこうしょうがい 開口障害の基準



2横指以下: 2本の指が縦に入らない
(3才~15才: 37mm以下、16才以上: 40mm以下)